

レーザーメスによる痔の日帰り手術

2019年の朝日新聞出版「手術数でわかるいい病院」にて東京都で最多の手術数

八王子クリニックでの

手術実績は年間約1200人、

24年間で2万3200人

(2019年10月31日現在)です。

2019年の朝日新聞出版

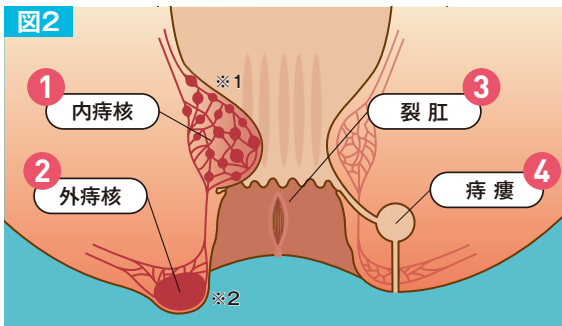
「手術数でわかるいい病院」(図1)にて東京都で最多の手術数でした。



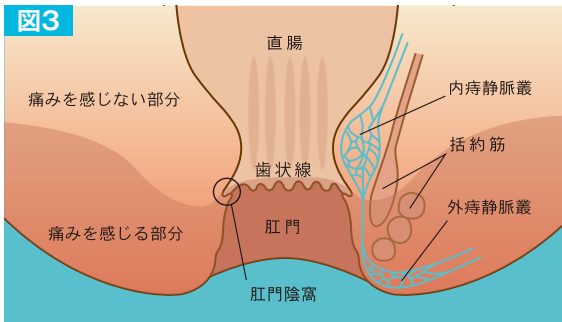
図1

痔って、どんな病気？

痔には、**内痔核・外痔核・裂肛・痔瘻**の4つの種類があります(図2、図3)。



※1 内痔静脈叢の静脈瘤化 ※2 外痔静脈瘤の血栓



内痔・外痔静脈叢 静脈が網目状に広がっていて、肛門のクッション部分

括約筋 肛門をしめている筋肉

歯状線 直腸と肛門のさかいめ

肛門陰窩 直腸と肛門の繋ぎ目にあるくぼみ

内痔核の分類表

<p>1度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 痔核の脱出はない。 ● 痛みはなく、排便時に出血することが多い。
<p>2度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 排便時に脱出するが、自然と戻る。 ● 出血があり、痛みも出てくる。
<p>3度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 脱出して、指で押し込まないと戻らない。 ● 出血があり、痛みも出てくる。
<p>4度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 指で押し込んでも戻らない。 ● 固くなって痛みも出血もなくなる。 ● 粘液がしみ出して下着が汚れる。
<p>嵌頓痔核</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 痔核内に血栓(血の塊)が多くでき、嵌頓状態(脱出して腫れ、戻らなくなる)となり、激しく痛む。

① 内痔核(いぼ痔)

内痔核とは直腸・肛門部に「うっ血による腫瘍(しこり)」をつくったものです。排便時の痛みや出血、進行すると脱出(脱肛)します。うっ血の原因は下剤や便秘、妊娠出産、長時間の立ちっぱなし、座りっぱなしなどです。

内痔核は4段階に分類されます。加えて、特別な状態の内痔核として嵌頓痔核があります。

嵌頓痔核

内痔核が腫れ上がり脱出したままの状態のものです。無理な排便などで突然起こります。激しく痛みます。

治療法は段階により異なります。1度は薬、2度はジオン注射単独、3〜4度、嵌頓痔核は手術とジオン注射の併用です。

2 外痔核(いぼ痔)

外痔核とは肛門外縁に「血栓(血の塊)による腫瘍(しこり)をつくったものです。

原因は硬い便や太い便、長時間の立ちっぱなし、座りっぱなしなどで、肛門の縁の血管が破けて血栓(血の塊)ができます。

症状は突然の肛門部の腫れ(しこり)と痛みで、2週間程度で腫れはひきます。腫れ(血栓)が破けて出血することがありますが、治癒の過程のものです。心配ありません。

3 裂肛(きれ痔)

下剤や便秘などが原因で、肛門の中にキズ(裂け)ができたものです。繰り返すと、次第に肛門が狭くなり排便がしづらくなります。さらに進行すると排便後の痛みが数時間から半日続きます。排便することが恐怖となり食事を控える人もいます。治療は、排便後の痛みが20分以上続くなら手術をお勧めします。

4 痔瘻(あな痔)

肛門の中と外が瘻管(トンネル)で繋がったものです。定期的に化膿し、腫脹↓痛み↓排便を繰り返します。原因は下剤、飲酒、香辛料の取りすぎで、肛門が炎症をおこし化膿し

てしまいます(肛門周囲膿瘍)。膿が出て、肛門の中と外がつながり痔瘻となります。

痔瘻は自然に治ることはありません。腫脹↓痛み↓排便を繰り返し広がります(複雑化)、長期になるとがん化することもあります。

痔瘻の治療は、手術が原則です。

何故、日帰りで手術ができるの？

レーザーメスとジオン注射の併用

レーザーメスとジオン注射併用療法は繊細な手術ができて完成度(根治性)が上がり、術後の痛みや出血を大幅に軽減します。

1 レーザーメス

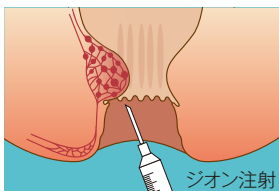
手術組織へのダメージが少なく術後の痛みが少ないことが利点です。

また、通常のメスの様に組織に接触して切るのではなく、光線で切るため繊細な手術ができます。シワがあり凸凹している肛門の手術には最適です。

2 ジオン注射(A-LTA療法)

内痔核にジオン(痔核硬化剤)を注射して、小さくする治療法です。内痔核硬化療法と呼ばれます。

タイムスケジュール ~手術は30分 滞在時間は4時間~



ジオン注射

3 仙骨硬膜外麻酔とセデーション(傾眠)併用

内痔核2度はジオン注射単独の治療ですが、3~4度はレーザーメス手術と併用することで、切除範囲を縮小でき痛みが少なく、また術後出血のリスクも大幅に減少できる利点の多い治療法です。

仙骨硬膜外麻酔とセデーション(傾眠)の併用で手術を行います。心と身体に優しい麻酔です。術後はすぐに歩行ができ、他の麻酔後に認める頭痛のリスクもありません。日帰り手術には最適な麻酔です。

翌日から 仕事ができます

24時間
365日
電話で
フォロー

- 1 通院**：手術後は、翌日、1週間後、3週間後の通院が必要です。
 - 2 生活制限**：2週間は飲酒、香辛料、運動を控えていただきます。
 - 3 仕事**：翌日からいつも行っている仕事(肉体労働も)は構いませんが、しかし無理はしないで下さい。
 - 4 術後ケア体制**：手術後は24時間365日 電話による相談を行います。担当医師と連絡がとれます。
 - 5 再発保証**：3年以内に再手術が必要な再発をしたら、無償で再手術を行います。
 - 6 費用**：費用は自由診療(保険外)です。30万円+消費税です。
- 仕事やご家族の介護、子育てなどで手術の適応にも関わらず、入院ができないため手術を諦めている方は珍しくありません。是非、この機会に当院の肛門科を受診していただけたら幸いです。